

ドッグ豆知識

ドッグの病気や健康、性質などに関する豆知識をご紹介します。

気づいたら
早めに
病院へ!

秋から冬にかけてなりやすい病気 「尿路結石症」

✓ 尿路結石症

尿路結石症とは、尿路である「腎臓・尿管・膀胱・尿道」のどこかに「結石」という固形物が形成される病気です。結石の大きさはさまざまですが、物理的な刺激によって尿路に炎症を起したり、尿管や尿道に大きな結石が詰まったりします。結石が詰まることで尿が排出できなくなり、尿毒症や膀胱破裂などの重篤な病気に発展する場合があります。

✓ 症状

●頻尿、排尿時の痛み、血尿など
「膀胱炎を起こして血尿になること」が一番分かりやすい症状です。その前兆として、「何度もトイレに行くこと」がありますが、出る尿の量は少ないのが特徴です。また、尿をする時に変な格好をしている（痛がっている）、陰部を非常に気にするように見えることがあります。尿がまったく出ていない場合は尿石がどこかで詰まっている可能性があり、2日以内に閉塞部位を解除しなければ命に関わることがあります。特に、オスは尿道が狭くて長いので、放置すると尿が全く出ない重傷状態に発展することが多いので注意が必要です。

✓ 尿石の種類

尿石にはいくつかの種類があり、代表的なものが**ストラバイト結石**と**シュウ酸カルシウム結石**です。原因や尿石のある場所、治療法は、尿石の種類によって異なります。

尿石の種類	ストラバイト結石(リン酸アンモニウムマグネシウム)	シュウ酸カルシウム結石
尿石のある場所	膀胱など	膀胱、腎臓、尿管、尿道など
尿の特徴	アルカリ性の尿でできやすい	どのpH(アルカリ性～酸性)でもできやすい
原因	食べ物・水に含まれる物質 飲水量の減少 細菌感染	食べ物・水に含まれる物質 飲水量の減少
治療	●尿結石の溶解を行います。溶解の基本は、専用の食餌(療法食)により尿中のアンモニウム、マグネシウム、リン酸の濃度を下げ、尿を酸化することです。 ●膀胱内結石の場合は1～4か月。腎結石の場合は、それ以上かかります。 ●尿石症は膀胱炎を起こすので、抗生剤の投与も必要です。重症の場合、手術が必要なおもあります。	●一度できてしまうと溶解しないので、手術をして取り除く必要があります。

✓ 結石ができる原因

(1)食べ物・水に含まれる物質

尿石は、食べ物や水などから摂取された「カルシウム・マグネシウム・リン・尿酸・ケイ酸」などのミネラルを材料に作られます。これらを多く含む食べ物を、過剰に、または日常的に与えることにより尿中に排泄され、尿結石形成の危険が増加します。また、感染症などによる炎症があると、尿中のタンパクや細菌とこれらの物質が結合しやすくなります。

(2)飲水量の減少

飲水量が減少すると尿が濃縮されるため、結石の形成が助長されます。また、膀胱内でアルカリを生成する細菌が増殖し、尿のpHがアルカリ性に傾くことにより、結石の原因になりやすくなります。

(3)細菌感染

ストラバイト結石の原因のほとんどが細菌感染によるものです。

(4)遺伝的要因

犬種により、結石のできやすい犬種があります。ダルメシアン、シーザー、シュナウザーなど

✓ 診断

●身体検査

触診により「尿道閉塞で膨らんだ膀胱」または「水腎症により大きくなった腎臓」が確認できます。

●尿検査

血尿、蛋白尿、結晶尿、細菌尿、尿pHを調べます。尿中の結晶から尿結石の種類(ストラバイトまたはシュウ酸カルシウム)を推定できます。

●X線検査・超音波検査

尿結石の存在を確認します。尿結石は一般的にX線不透過性ですが、透過性の高い結石や、厚さの薄い結石は確認が困難なため、レントゲンのみでの診断はできません。

●血液検査

腎臓機能の状態などを調べます。



燦々 Sansan

有限会社かりゆし
ドッグセラピー事業部 会報誌

Vol. 3 | 秋冬号
2019年

Contents

- ドッグセラピー症例報告
- セラピードッグの成長日記「はる」「メイ」
- 「オレンジカフェ」のおしらせ
- 研究コラム
セラピードッグになるまで(トレーニング)
- ドッグ豆知識
秋から冬にかけてなりやすい病気「尿路結石症」

【活動報告】

セラピードッグ「なつ」による 個別セラピー症例報告

ドッグセラピー導入後、
自発的な発言・言動・笑顔が見られ、活動量が増加。
新たな目標へ、ステップアップ

なつ Natsu
ラブラドル・レトリバー

Hさん(91歳・男性)

- 介護度 4
- ADL B2
- 認知度 IIa
- 実施期間: 2019年3月8日～継続中
- セラピードッグ: なつ

3月8日のセラピードッグ導入後、週1回を目安に「なつ」が利用者様の部屋を継続的に訪問するようになりました。「なつ」との関係づくりは良好で、セラピーによって利用者様のご様子に次のような変化が確認できました。

第1段階

目標

- 自発的行動の促し、活動量の拡大を図る

問題点

- 意欲低下、介護依存が見られる

【利用者様のご様子】

- 「なつ」のブラッシングやトレーニングをしてもらうことにより、車椅子への移乗、座る時間が増える。
- 「なつ」のリードを渡すと、自ら「散歩へ行こう」と言われる。ベッドで横になられていても「行かにゃあいけん」と起き上がる意欲が見られ、車椅子に乗って「なつ」と散歩に行く。
- 話をする時に笑顔が見られるようになり、その回数も増えた。
- 車椅子へ移乗する前にベッドに座る(端座位)姿勢が安定するようになり、自らその姿勢を保つことができる。(安心して靴をはかすことができるなど、介護負担も軽減)。

↓ 医師をはじめ、利用者様のケアに携わるスタッフによるケアカファレンスで第1段階の目標達成と評価し、第2段階の目標を設定しました。

第2段階

目標

- 自発的行動の誘発による活動量の拡大と廃用性症候群の予防・軽減
- 「立位の安定を図る」「ベッドからの起き上がり」「ベッドから車椅子への移乗 ←→車椅子からベッドへの移乗」これらの動作をできる限り自ら行えるようにする。
※「立位の安定を図る」=膝に体重をのせて立ち、足踏みをして方向転換するといった動作ができるようにする。

方法

- 週1回から週2回に増やし、起き上がる回数を増やす。
- おやつ係、犬舎へ行くなど、楽しみや役割を与え、意欲を持たせる。
- 「なつ」とのふれあいを通じて足を動かす感覚をつかむ。

セラピー中の「なつ」



ベッドで利用者様に添い寝する「なつ」



「なつ」のトレーニングをしてくださる利用者様



利用者様の膝に顔をもち上げて「散歩に行こうよ～」とおねだりする「なつ」



〈お問い合わせ〉

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部

〒701-1333 岡山県岡山市北区立田587番地
TEL.086-905-0111(直通) FAX.086-287-8261
E-mail. dog_therapy@ikenaga-group.jp

http://www.therapydog.jp

Instagram Dog_therapy_ikenaga
はじめました

セラピードッグの成長日記

Haru
はる 黒柴

2018年2月4日生まれ
オス♂

プロフィール

おっとりとして大人しく、ちょっぴり怖がりな性格。でも、芯は負けず嫌いで向上心にあふれています。トレーニングにも前向きに取り組んでいます。

Training

誘惑物から目をそらし 障害物を回避して歩く

新しいことを積極的に吸収中の「はる」。たくさんの誘惑物に囲まれて動揺しやすい環境でも、トレーナーの指示に集中して誘惑物に興味を示さず、障害物を回避しながらトレーナーの脚にぴったりついて歩けるようになりました。



たくさんの誘惑物から目をそらし、その間を通り抜ける「はる」



トレーナーの指示に従い、障害物の間を抜けていきます。



コロコロと動く物体を見ても動揺せず、トレーナーの目を見て集中



トレーナーとアイコンタクトを取りながら、たくさんの障害物の間を通り抜けることができました!

May
メイ ポメラニアン

2017年11月4日生まれ
メス♀

プロフィール

甘えん坊で人が大好き♡ やや怖がりですが人やモノに興味があり、順応性に優れています。ちょっとお調子者のところも。見た目のかわいさはアイドル級。

Training

個別セラピーに向けた訓練 シルバーカーの上にじっと座ることができる

最初、「メイ」はちょっと不安そうでしたが、シルバーカーに興味を示すようになり、じっと座ることができるようになりました。利用者様が愛らしい「メイ」と一緒に散歩できるよう、個別セラピー・デビューに向けた訓練をしています。



すっかりシルバーカーに慣れた様子の「メイ」



シルバーカーの上に座ったまま利用者様とアイコンタクトを取る「メイ」



利用者様にシルバーカーを押していただき、お散歩に出かけられるようになりました!

【研究コラム】

セラピードッグになるまで(トレーニング)

3段階のトレーニングとテストに合格したセラピードッグが活躍しています。

当方のドッグたちは、パピーの頃からセラピードッグに求められる社会的マナーや作業・動作などの訓練を段階的に受けています。訓練は「基本トレーニング」「応用トレーニング」「セラピートレーニング」の大きく分けて3段階からなり、各段階のテストに合格すると上の段階に進みます。

Training 1

【基本トレーニング】

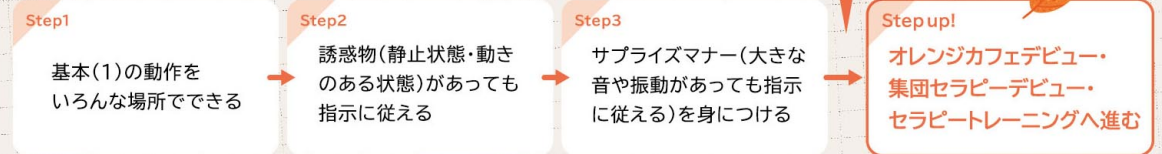
日常生活や社会生活で求められる基本マナー・動作などを教えます。 **テスト合格**



Training 2

【応用トレーニング】

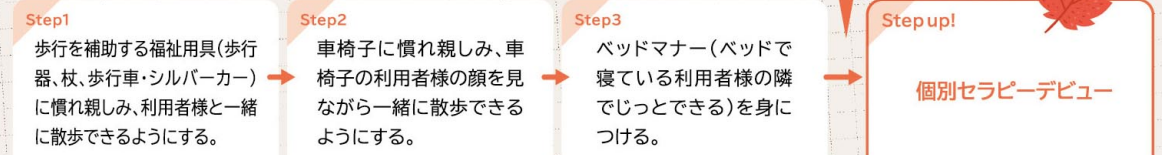
環境の変化や突然の変化(音や物体など)に慣れさせます。 **テスト合格**



Training 3

【セラピートレーニング】

個別セラピーに必要な技術やマナーを身につけます。 **テスト合格**



おしらせ

いきがいライフたかまつ

「おかやまオレンジカフェ(認知症カフェ)」

集団ドッグセラピー(毎月2回)

ドッグと楽しくふれあいながらゲームやワークを楽しみませんか!

開催日時 毎月第2・4水曜 13時~15時
※ドッグセラピーは13時30分頃から20分程度

メニュー ドリンク(お菓子付き)
各100円 ※コーヒー、紅茶、玉露ほか

喫茶協力 「ひまわりの会」(備中高松地域ボランティア団体)
地域のみなさんがボランティアでカフェを運営して下さいます。
※ご高齢のお客様の好み、安全性などに配慮し、当施設が選んだ食べやすいお菓子を提供しています。

席数 24席
場所 いきがいライフたかまつ 1階・地域交流ホール
(岡山市北区立田586-1 / tel.086-287-8880)

参加申し込み先

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部 E-mail dog_therapy@ikenaga-group.jp
※見学、ご家族の付き添いも遠慮なくご連絡ください。